

【ビジターセンター イベント案内】

環境省 箱根ビジターセンター

- GW特別イベント開催中！
 1、早朝観察 6:00~7:00頃
 2、大涌谷観察会(箱根VC~大涌谷間)
 往路10:00~12:00
 復路13:00~15:00
 片道だけの参加もOK
 3、楽しいクラフト 参加費200円

どれも事前申し込みは必要ありません。

県立丹沢湖ビジターセンター

- 出張トーク(無料・申込不要)
 センター職員が丹沢湖周辺のおすすめ自然スポットに出現！センターを離れて、数分~1時間のトークやガイドを行います。
 ※開催場所や時間、内容は月によって変わります。
 開催日：毎月第4土曜日
 10:30~14:30の間の1時間

- ガイドウォーク(無料・申込不要)
 開催日：毎月第2日曜日
 10:00~12:00

- スライドトーク(無料・申込不要)
 開催日：毎月第1・3・5土曜日、祝日
 11:30~12:00

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- ガイドウォーク(無料・申込不要)
 開催日：第1日曜日・第4日曜日
 13:30~14:30頃
 ※雨天時にはスライドトークを実施

- スライドトーク(無料・申込不要)
 開催日：毎週土曜日、第2・第3日曜日
 (第5日曜日)、祝日
 13:30~14:00

県立秦野ビジターセンター

- 登山道トーク(申込不要・無料)
 神出鬼没！登山道で会いましょう！登山道や登山口周辺で丹沢の自然などをテーマに数分のミニトークを行います。
 見かけたらぜひご参加ください！
 ※場所は担当のスタッフが当日決定いたします。
 開催日：毎月第3土曜日

- スライドトーク(無料・申込不要)
 開催日：毎週日曜日 13:30~14:00

2011
5月号
 No.87

~自然公園から季節のたよりをお届けします~ 神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

足元に青葉

宮ヶ瀬ビジターセンター



①様々な木々の森

新緑の季節、木漏れ日に輝く山道では、どちらをむいても若葉の“青”が目に入り、そして足元には…高さ6~7cmほどの小さな木にもみずみずしい青葉がついています！(写真①)。

葉の大きな木(広葉樹)はコナラで、葉の形はもう、しっかりとコナラの葉の本来の形をしています。そのそばにある小さなモミの木にもやわらかい新葉がついています。宮ヶ瀬周辺(約300m~700m)には、かつて炭を作るために植えられたコナラやクスギ、伐採されずに守られてきた太くて大きなモミの木が多く見られます。この幼木たちは数十年、数百年の長い時を過ごし、やがて、様々な木々によって成る森(写真②)へと育つでしょう。

標高の高いところ(約1000m前後)にあるブナ森では、大きな木の根元に、抱かれるように立つ小さなブナの幼木を見つけました(写真③)。ブナの実が自然にここに落下したのか、動物が運んだのか…ここで芽吹いた訳がいろいろと想像されます。やがて、この幼木が生長し、寿命をむかえた大木と世代交代する時がくるのかもしれない。それまでにたくさんの生きものが葉影で休み、ブナの実を食べにやってくるでしょう。

幼木たちは日照不足、乾燥、生きものによる採食などの原因で、成長できないこともあります。そんな厳しい状況のなか、小さな体に大木となる力を秘め、たくましく生きる幼木の姿をぜひ、探してみてください。(鈴木)



②コナラとモミ



③ブナ

自然公園へ出かけよう



休館日は直接お尋ねください

県立宮ヶ瀬ビジターセンター 県立丹沢湖ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel:046-288-1373 Fax:046-288-1162
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Tel:0465-78-3888 Fax:0465-78-3777
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立秦野ビジターセンター 県立西丹沢自然教室

〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Tel:0463-87-9300 Fax:0463-87-9311
 開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nadanovc/>

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
 Tel:0465-78-3940 Fax:0465-78-3940
 開館時間 8:30~16:30
 (12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hishitanzawa/>

県立陣馬自然公園センター 環境省箱根ビジターセンター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
 Tel:0426-87-5270 Fax:0426-87-5270
 開館時間 9:00~16:30
 (12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根礼場164
 Tel:0460-84-9981
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階
 TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932
 自然公園課: sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
 後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会 検索

今年もツツジが見ものです

箱根ビジターセンター



“シロヤシオ”

5月へと突入し、初夏へ向けて季節が一直線に進んでいます。そんな5月といえば、この季節に咲くツツジがたくさん並び、グラデーションを彩りながらビジターセンター周辺でみんなを楽しませてくれます。ヤマツツジ、ミツバツツジ、トウゴクミツバツツジといったツツジ達が赤やピンク色で観察コースを彩ります。

また、純白の花びらが我々の目を釘付けにする、白いツツジこと「シロヤシオ」(正式名称:ゴヨウツツジ)。金時山などのブナ林の緑の中に咲き誇り、白の清純さを一層に輝かせます。少しビジターセンターから遠出をすると、箱根ではレアなムラサキツリガネツツジに出会える事も…。

しかし、ツツジの魅力は私の文章で語っては魅力を十分には伝えられません。ここからは皆さん自身の目でツツジ達の彩りを確認して、心の底から感動しましょう。

また、7月には箱根の名を持つ「ハコネコメツツジ」も咲きます。数が少ない珍しいツツジなので、出会えたらラッキーです。

※今年は花期が遅いかもしれません。例年よりも7~10日程の遅れか?

(加藤)



ムラサキツリガネツツジ

今年の春は…

西丹沢自然教室



西丹沢の早春の新緑



ミツマタの花



マメザクラの花

《開花時期情報》

ミツマタ
昨年は3月初旬、今年は3月21日
マメザクラ
昨年は3月22日、今年は4月5日
ミツバツツジ
昨年は3月31日、今年は4月10日

毎年、春になると登山者が増えます。早春の花はミツマタ、マメザクラなどが人気です。昨年の記録と比べると、ミツマタ、マメザクラ、ミツバツツジなど開花は遅めで、他の植物の開花も10日くらい遅いです。

今年は、花のつき具合は良さそうに感じます。花が少ない年だと、アセビやヤブツバキの花は目につかないことがありますが、今年は遠くからでも目立ちます。アセビはツツジ科の植物ですから、今年のシロヤシオ(ヤシオツツジ)は、時期は遅めですが期待できそうです。

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、神奈川県西部で震度5弱の余震もありました。沢治の登山道は落石などのリスクは避けられません。情報をよく調べて、注意して登山をしてください。(倉持)



用木沢の登山道の落石

黒い蝶の誘惑??

秦野ビジターセンター

風薫る～季節となりなした。風が薫る?薫風とは。
『青葉若葉の中を吹きおくる初夏の風がなんとなく匂いやすうに感じられる。』(広辞苑・茶道歳時記より)のこと。
ビジターセンターのまわりでもそんな風が吹き始める頃でしょう。

風薫る前の季節、4月の中旬に秋山林道を歩いてきました。

登りは途中から登山道に入って、もうすぐ芽吹きが始まる木々の中を歩きキブシヤアブラチャンの花を見ながら牛首まで行き、帰りは林道を下りました。帰り道、目の前をヒラヒラと黒っぽい蝶が飛んでいる。何だ?と後を追いかけて行くと林道の脇にある満開のアセビの木に止まり蜜を吸いだしました。

翅に青い帯がある。ルリタテハでした。帯の瑠璃色が日差しを浴びてとともきれいで。写真を撮りながらしばらく観察し、さあ下ろうと思ったら…道が違う!?慌てて戻りましたが道をそれた覚えがない。ルリタテハに誘惑されてしまいました。

5月に入ると新緑の中からオオルリやキビタキ、ホトギスなど夏鳥のさえずりが聞こえヒメウツギ、マルバウツギとウツギの花も咲きはじめ山も賑やかになってきます。

鳥の姿を追いかけて、景色に見とれたり、夢中になると思わぬ事が起こりますので、皆さん足元をしっかり確認して歩いて下さい。(石川)



冬眠から目覚めたルリタテハ



マルバウツギ



さえずりが美しいオオルリ



ウツギ

清楚で美しいヤマシャクヤク

丹沢湖ビジターセンター



ヤマシャクヤク
花の命は短い

5月の西丹沢を代表する草花は何と言ってもヤマシャクヤクではないでしょうか。バナミズナラの明るい落葉広葉樹の林床に純白で清楚な花を咲かせます。丹沢では近年、鹿の食害により下草が減少していますが、ヤマシャクヤクに限ってみると被害はほとんどありません。

ヤマシャクヤクの花びらは開花してから三日ほどで散ってしまいます。ですから時には何度も足を運ばないと、その花にめぐりあえない年もあります。

ヤマシャクヤクと同じ仲間ピンク色の花を咲かせるペニバナヤマシャクヤクという種類もありますが、丹沢ではすべて白い花をつけるヤマシャクヤクです。西丹沢では例年5月中旬から下旬にかけて咲きます。この時期はヤマシャクヤクと同じ場所野生のランのサカネランに出会うこともあります。

山の楽しみ方はいろいろとありますが、この季節は是非、花を尋ねて新緑の山歩きはいかがでしょうか。感動的な出会いがあると思います。(大津)



純白の花弁と派手な色のめしべのコントラストが目を引く



サカネラン
見つめることは難しい